

ご あ い さ つ

本町は、富士山や愛鷹山麓の自然豊かな環境に恵まれ、JR東海道新幹線や東名高速道路、新東名高速道路などの交通アクセスの利便性も高いことから、工場進出が進むとともに人口も増加し、工業を中心とする町として発展を遂げてまいりました。現在も人口増加が続いており、今後もしばらくは増加が続くと予測され、地方創生のモデル自治体として更なる発展が期待されています。



一方で、全国的に人口減少や少子高齢化の進行など、地方自治体を取り巻く厳しい状況が続く中、国において、将来にわたり持続可能な都市を実現するため、居住や都市機能の誘導、公共交通の充実を目指す包括的な計画である「立地適正化計画」制度が平成26年に創設されました。

本町においても、将来確実に起こりうる人口減少や少子高齢化を抑制し、人口バランスの取れた持続可能な都市づくりが必要です。そこで、長期的な視点のもと、拠点における賑わい創出、道路や公園などの整備、公共交通の利用促進など、誰もが住みやすいまちづくりを進めるため、立地適正化計画を策定いたしました。

本計画では、基本方針を「住みたい、歩きたいまち ながいずみ」とし、目標とすべき4つのターゲット「拠点エリアの求心力向上による地域活力の創出」、「歩いて楽しいまちづくりの創出」、「ファミリー層の定住促進」、「工場・企業等の操業環境の維持と良好な住環境の形成」の具体化に向けた取組みを進めていきたいと考えております。町民や地域、事業者などの皆様におかれましては、計画の主旨をご理解いただき、ご協力そして積極的なご参加をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、ご尽力を賜りました日本大学理工学部教授の天野光一氏、静岡県地域づくりアドバイザーの伊藤光造氏をはじめ、都市デザイン懇話会などで貴重なご意見をいただきました町民の皆様に、心からお礼を申し上げます。

平成30年7月

長泉町長 池 田 修